

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

熊本県 地域セミナー 報告書

2017（平成29）年11月7日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」熊本県地域セミナーが開催されました。当日は、熊本県教育庁の方3名、熊本県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方21名（小学校8名、中学校9名、高等学校2名、特別支援学校2名）、熊本市教育委員会の方3名およびNPO法人ひとづくりネットの方4名にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2017（平成29）年11月7日（火）14時00分～16時40分

会場：水前寺共済会館グレースシア 2階 孔雀

主催：熊本県教育庁、NPO法人ひとづくりくまもとネット、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：34名

プログラム：

14:00～14:10 熊本県教育庁教育指導局 体育保健課長 西村 浩二 氏 「開会の言葉」

14:10～14:45 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

副センター長 深見 英一郎 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

「オリンピック・パラリンピック教育の概要について」

14:45～15:00 休憩

15:00～16:30 パラリンピックアテネ・北京・ロンドン大会

ウェルチェアーラグビー日本代表 三阪 洋行 氏

「パラスポーツの可能性」

16:30～16:35 熊本大学教育学部生涯スポーツ福祉課程教授兼

NPO法人ひとづくりくまもとネット理事長 中川 保敬 氏 「閉会の言葉」

16:35～16:40 連絡事項

開会行事では、熊本県教育庁教育指導局体育保健課長西村浩二氏より、開会の挨拶がありました。



西村 浩二 氏



会場の様子

次に、本副センター長の深見英一郎の挨拶の後、研究員の岡田悠佑より、「オリンピック・パラリンピック教育の概要について」というテーマで、本事業の目的や意義に関する説明がありました。加えて、オリンピック・パラリンピック教育に関する教材や、これまでのオリンピック・パラリンピック教育の事例の紹介がありました。

また、今回はパラリンピック教育の教材である「I'm POSSIBLE」に関して、パラリンピックサポートセンターの方が登壇し、活用方法や効果について資料を用いながら説明がありました。

さらに、パラリンピックアテネ大会（2004年）、北京大会（2008年）、ロンドン大会（2012年）にウィルチェアラグビー日本代表として出場された三阪洋行氏より、「パラスポーツの可能性」というテーマで講演が行われました。具体的には、自らが障がいを負うまでのスポーツ経験、障がいを負って感じたこと、ウィルチェアラグビーに出会った経緯、ニュージーランドへの留学に挑戦したときのことについて、多くのエピソードとともにお話されました。また、パラリンピックに日本代表として出場した経験についてもお話をいただきました。さらに、パラリンピックスポーツを通して共生社会を実現するためには、理解、受容、行動が必要であるという三阪氏の考えについてもお話されました。



深見 英一郎 副センター長



三阪 洋行 氏

最後に、熊本大学教育学部教授の中川保敬氏からご挨拶があり、閉会となりました。閉会後に、参加いただいた先生方や主催の熊本県教育庁の先生方と写真撮影をして散会となりました。

セミナーの前後に行ったアンケートからも、多くの先生方が、オリンピック・パラリンピック教育の重要性を強く感じていることが確認できました。

なお、熊本県地域セミナーの開催にあたり、熊本県教育庁の先生方、ひとづくりくまもとネットの皆様には大変ご尽力を賜りました。ありがとうございました。



中川 保敬 氏



集合写真